



# 大会レガシーを まちづくりの未来へ

東京2020大会自転車競技伊豆開催をレガシーとするために、  
自転車文化を根付かせて未来へつないでいくために、  
伊豆市は自転車のまちづくりに取り組んでいる。

- 123 サイクルシェアリング事業  
世界のトップ選手が伊豆市を訪問
- 124 TRACK PARTY  
ジャバントラックカップI・II
- 125 自転車が苦手な小学生のための自転車教室  
世界の若き自転車競技選手が伊豆市を訪問
- 126 土肥小中一貫校の生徒が考えた  
サイクリングコースをEバイクで試走  
東京2020組織委員会橋本聖子会長の  
静岡県訪問
- 127 あすチャレ ジュニアアカデミー  
レガシー銘板

## サイクルシェアリング事業

| いずペロ



いずペロ  
サイクリングマップ



自転車まちづくりの一環として、伊豆市はサイクルシェアリング事業を推進。修善寺駅前の『いずペロ』では、電動アシスト付自転車などのレンタルや、伊豆市内のサイクリングコースを紹介する『いずペロサイクリングマップ』作成を行なった。また、修善寺温泉街にもサイクルステーションが設けられ、自転車のレンタル・返却が可能のため、サイクリングの楽しみ方が広がった。

## 世界のトップ選手が伊豆市を訪問

2017年5月17日(水)・2019年3月27日(水)  
2019年4月10日(水) 伊豆市役所

オリンピックや世界選手権、ワールドカップなどで活躍している世界のトップ選手が市役所を訪問した。選手たちは、「伊豆の自然は美しい」などと話し、伊豆市での生活を楽しんでいるようだった。選手たちは、(公財)JKAの『短期登録選手』として登録され、日本競輪学校で競輪についての練習と訓練を受けた後、各地の競輪場での競輪に出場した。



2017年5月17日(水)



2019年3月27日(水)



2019年4月10日(水)

## TRACK PARTY

2017年10月14日(土)・2018年5月12日(土)・10月13日(土)  
伊豆ベロドローム

伊豆ベロドロームにて『TRACK PARTY』((公財)JKA主催)が開催された。国内外の一流選手によるトラック・レース、お笑いライブ、音楽イベント、応援イベント、ランニングバイク体験、フードフェスなどが行なわれた。



TRACK PARTY 2018 in Spring



TRACK PARTY 2017



TRACK PARTY 2018 in Autumn

## ジャパントラックカップI・II

2018年7月6日(金)～8日(日)  
伊豆ベロドローム

2018年7月6日(金)～8日(日)、『第5回寛仁親王記念ワールドグランプリ 国際自転車競技大会 2018 ジャパントラックカップ I・II』が開催され、リオ2016大会メダリストや日本代表選手など、18か国から約150人が参加した。会場では七夕にちなみ、東京2020大会への想いを短冊に書いてもらいイベントも実施。8日には、<sup>あきこ</sup>彬子女王殿下がお成りになった。なお、開催に先立ち、6月28日(木)に<sup>おおた</sup>太田りゆ選手が熊坂こども園を訪問。ランニングバイク出前教室で指導した児童と再会し、『モスクワ・グランプリ2018』の女子ケイリン準優勝の報告と、大会のPRを行なった。



## 自転車が苦手な小学生のための自転車教室

2019年12月8日(日)  
JKA250(日本競輪選手養成所内)

『自転車が苦手な小学生のための自転車教室』をJKA250(日本競輪選手養成所内)で開催した。市内の小学生23人が参加し、自転車のマナーや操作方法、安全な自転車に乗り方について学んだ。日本サイクルスポーツセンター職員とともに、日本競輪選手養成所の選手候補生13人が子どもたちを自転車に乗れるようにサポートした。練習後には、選手候補生がJKA250の250mトラックをデモンストレーション走行し、子どもたちを楽しませた。



## 世界の若き自転車競技選手が伊豆市を訪問

2019年5月30日(木)・11月5日(火)  
伊豆市役所

日本サイクルスポーツセンターが運営するコンチネンタル・サイクリング・センター・修善寺(CCC修善寺)で練習を行なう、世界の若き自転車競技選手が伊豆市役所を訪れ、菊地豊市長との懇談を行なった。訪問したのは、日本、チャイニーズタイペイ、香港チャイナ、マカオチャイナ、フィリピン、タイの6つの国と地域の14歳から18歳までの選手。選手たちは、「ジュニアアジア選手権で金メダルを取りたい」、「大会で活躍したい」などと今後の抱負を語った。



5月30日(木)



5月30日(木)



11月5日(火)



11月5日(火)

## 土肥小中一貫校の生徒が考えたサイクリングコースをEバイクで試走

2020年11月12日(木)  
土肥地区

2020年11月12日(木)に、土肥小中一貫校9年生(12人)が考えた土肥地区を巡るサイクリングコースを、スポーツ型電動アシスト付自転車(Eバイク)で試走し、検証を行なった。コースは、土肥小中一貫校から丸山スポーツ公園までの往復7km。検証にあたり、随行スタッフとしてMERIDA X BASEの品川真寛さん、コナステイ伊豆長岡の平塚吉光さん、イズバウンドの木村政彦さんが協力。Eバイクは、いずべロ、MERIDA X BASE、コナステイ伊豆長岡が貸出協力を行なった。生徒たちは、「Eバイクだと上り坂でも楽に走れる」、「車通りの少ない道は安心して走れた」などと話していた。



## あすチャレ ジュニアアカデミー

2021年9月~2022年1月  
修善寺南小学校

2021年10月12日(火)に修善寺南小学校にて、(公財)日本財団パラリンピックサポートセンターが主催する『あすチャレ!ジュニアアカデミー』のオンライン版を行なった。4年2組の児童26人が参加した。車いすユーザーである伊吹祐輔講師が、自身の体験やコロナ禍を例に挙げ、映像やクイズを交えながら障がいとは何か、障がいを乗り越えるためにできる工夫、パラスポーツの魅力などについて語った。児童たちは懸命にメモをとりながら真剣に話に聞き入り、東京2020大会コンセプトの一つである多様性と調和や、挑戦することの大切さを学んだ。



### Message 児童の声

修善寺南小学校 4年  
いとう みつき  
伊藤 美月

伊吹さんの話を聞いていたら、習いごととか色々なことにチャレンジしてみたくなりました。自分一人じゃできないことは、友達や家族と協力して乗り越えていきます。友達が困っていたら、自分も友達に協力していきたいです。

修善寺南小学校 4年  
そうま にこ  
相馬 虹心

パラスポーツ選手の魅力は、今できないことを明日できるようにするために、工夫と努力をして、自分の可能性にチャレンジするところ、という話を聞いて、私も今苦手なことを苦手じゃなくなるように、努力しようと思いました。

実施日	対象	参加人数
9月9日(木)	中伊豆小学校 4年生	36人
10月5日(火)・12日(火)	修善寺南小学校 4年生	51人
10月21日(木)	修善寺小学校 4年生	16人
10月22日(金)・11月5日(金)・12月10日(金)	修善寺中学校 1~3年生	308人
11月17日(水)	天城小学校 5・6年生	72人
12月21日(火)	中伊豆中学校 1~3年生	110人
2022年 1月31日(月)	天城中学校 1年生	37人

## 東京2020組織委員会橋本聖子会長の静岡県訪問

2021年9月14日(火)  
静岡県庁、沼津商工会議所

東京2020組織委員会の橋本聖子会長が静岡県を訪問した。まず静岡県庁へ川勝平太知事を訪ね、自転車競技開催地として大会の運営に協力した静岡県に対して、感謝を述べた。さらに競技会場となった県東部へ訪れ、開催市町の担当職員や都市ボランティアなど約50人の関係者を労った。「今日集まった一人ひとりに心の中で金メダルを掛けた」と語り、記念撮影を行なった。



## レガシー銘板

東京2020大会自転車競技が伊豆市で開催されたことを記念してレガシー銘板を製作し、2022年4月修善寺駅北口と独鈷の湯公園に設置した。

修善寺駅北口



独鈷の湯公園

